



FREE AWAJI BOOK 8890

特集
涼求め、神田冷やし麺を
すする夏

Hot Day?
Cool off with
Summer Noodles!



FREE AWAJI BOOK 8890

フリーマガジン 8890
2018.06.01発行

発行：一般社団法人読者エンターテインメント
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-708 フラタナビル1311
Tel 03-5256-9883 Fax 03-5264-0090
www.waterras.com



編集：グッドモーニング株式会社 水代 優
www.goodmornings.co.jp

Text Daisuke Furuya
Photo Eiji Muraoka

RESTAURANT 1899
2018 抹茶ビアガーデン
OCHANOMIZU 1899 MATCHA BEER GARDEN

今年も
抹茶ビアガーデンの
夏が来た。

期間限定
6/1(金)~9/30(日)
2018



10種のビール、抹茶ワイン、その他 飲み放題¥3,500(税込)2時間制。
WEBからのご予約だと¥3,000でご利用いただけ、とてもお得です！
ぜひビールに良く合うユニークなお茶料理と一緒にどうぞお楽しみください。



RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU
101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4
TEL 03-3251-1150 <http://www.1899.jp/ochanomizu/>



そのクールさに、ハッとする。
今年の夏も、どうぞよろしく。



Hot Day? Cool off with Summer Noodles!

語る沈さん。険しくも
ユーモラスな京劇面
の絵はお店の目印。



夏の風物詩・冷やし中華の原点は、 神田・すずらん通りにあり！

小学生の頃、夏休みの日課だった絵日記。まるひと月にもわたる、長い長い夏の日常を書き連ねていく日々のいつか・どこかで「お昼はひやしちゅうかをたべました。つめたくておいしかったです」なんて綴ったことのある人も多いはず。そんな夏の味覚の代表格、冷やし中華だが、実はこれ、今をさかのぼること85年前(1933年)に、神田はすずらん通りに面する中華の老舗「揚子江菜館」で生み出されたものといわれている。

中国史上、最後の王朝である清朝も末期、寧波(ニンポー)から弁髪姿でこの地にやってきた初代が、明治39年(1906年)に立ち上げたこのお店。のちに二代目として店を継ぐことになる息子は、ある時、小さい頃から親んでいた名店「まつや」のざるそばをヒントに、「中華料理でも、冷たくておいしい麺料理がきっとできる」と確信し、2年もの歳月をかけ

て開発・完成したのが、今このお店で見ることのできる姿そのままの、冷やし中華である。一般的には、まかないはさておき、お客に提供するものはあくまで温かいものを、というのが中華料理のセオリー。それを覆して登場したこの新味の味は、地域に多数いた中国人留学生・日本人を問わず、驚きと賞賛を以って受け入れられた。



具材や盛り付けの由来を知って、一層おいしく。

Hot Day? Cool off with Summer Noodles!



すずらん通り沿いの入り口。美味なる誘惑が色々。見事な山盛りは、近所の富士見坂から見えた富士山に着想を得たもの。



十全十美(完全無欠で非の打ち所がない)という中国のことわざになぞらえ、十種類の具材で構成された贅沢な盛り付けは、実は富士山とその四季をモチーフにしたもの。それも、チャーシューで春の大地を、みずみずしいきゅうりで夏の緑を、煮たタケノコで秋の落ち葉を、糸寒天で冬の雪を、おまけに錦糸卵を使い山頂の雲まで(!)表現してみせるという、完璧なまでの意味の持たせよう。まずは向かって正面のきゅうりで喉を潤してから麺やその他をいただく、というのが本来の食べ方だ。200回以上の試作を経て完成したという甘酢タレの、甘みがありつつもさっぱりとした味わいとともにいただくストレート麺のどこしは、実にさわやか。

お店を継いで20年ほどになる現・四代目の沈松偉(ちんしょうい)さんもまた、そんな先人の功績をしっかりと今に伝えつつ、

別のアプローチで創意工夫を凝らしている。今やすっかり市民権を得た麻辣(マラー)湯麺や酸辣(サンラー)湯麺も、実は十数年ほど前に彼が始めたものなのだとか。揚子江菜館は、今も昔も日本の中華料理界のトレンドセッターなのだ。



揚子江菜館

千代田区神田神保町1-11-3 ☎ 03-3291-0218

☎ 11:30~22:00 (L.O.21:30まで)

☎ 年中無休(年末年始除く)

数十年の味覚探検を経て紡がれる 新しくてやさしい、山形の味



氷の光沢が目にも涼しくユニークな「冷たいラーメン」。



明大通りに位置しており、学生ファンも多数の店内。

全くもって新しいのに、ことさらに珍しさを狙っているのとも違う。むしろ素材同士がとてよく調和した、やさしい印象の味。2012年創業「麺ダイニング ととこ」の定番・冷たい（つったい）ラーメンは“創作系”なんて軽く一言では済ませられない、味覚の新境地を開いてくれるような味わいだ。コシのある全粒粉の麺、炭火で煮た香ばしい鶏肉、油を使わず、醸造りんご酢を加えたまろやかなしょうゆベースのスープ。夢中で麺をすすっていると、ときおり氷がカランコロンと音を立ててどんぶりの中を動く。

地元山形で、ドライブイン型の食堂を営む家に生まれた菅原由紀子さんはきっと、お父さんゆずりの味覚開発の天才肌には違いない。「あまりこねくり回して発見するという感じではないんですよ。日々生きていて、食事していて、あるいは休憩時間にテレビを見たりして、時々ピンと来るんです。あれとあれの組み合わせ、試してみたらきっとおいしいんじゃないか、なんて」。

高校時代からたい焼きや水出しコーヒーと、興味の赴くままに食べ歩きを続けてきた彼女。仕事でも、和食に中華にイタリアンなど、様々な食の現場を渡り歩いて、気づきや学びを得てきた。長い時間をかけ培われたそんな感性と経験を大きく開花させたのは2012年、お店のオープンにあたりすぐ開発

Hot Day? Cool off with Summer Noodles!



菅原さんは、優しく小さな声の持ち主。ラーメンこそが一番の拡声器かも。



はじめての美味しさ。しかも健康だなんて！

した「冷たいラーメン」。その後も開発を続け、今では冷たいラーメンだけでも実に6種類ものラインナップを取り揃えるに至っている（うち2種類はオールシーズン対応）。

「かんすいや化学調味料のせいとか、私自身がお腹を壊してしまうラーメンも世の中には多いので」と、身体が喜ぶヘルシーさにこだわっていて、それがおばあちゃんを中心とした女性たちからも厚い支持を得ている。女性が気軽にゆっくり一人飲みして過ごせるのも売り。

半生にわたる味覚の旅路で、ある時気づいた意外な発見。それは求めていた理想の味がごとごとく、自分のルーツの中にあっ

たということ。生前お父さんが作っていたそば然り、鶏卵場を営む母方の叔父さんの家の鶏肉然り。「改めて、いいものを食べさせてもらっていたんだなって」。かつて大学時代に慣れ親しんだこの街で、菅原さんがこのお店を立ち上げ、日々奮闘すること。実家の懐かしの味から新メニューを開発すること。山形のお店をたたくで以来、約20年越しの家業の再生となるこの「ととこ」の姿に、天国のお父さんも感慨深い気持ちに浸っていることだろう。



麺ダイニング ととこ

千代田区神田小川町3-10-9 斎藤ビル1F

☎ 03-5577-4404 ☎ 11:00~23:00 (L.O.22:30)

☎ 年中無休(お盆・年末年始を除く)

HANG OUT MAP

ぶらぶらマップ

illustration Mougi Kazuya

A 5月19日(土)～6月10日(日)

アーツ千代田 3331 特別企画展

「ときを渡る～“山王さん”を支えた町の150年～」

地域の歴史や文化を紐解き、その魅力を発信する特別企画展。今年“明治150年”をキーワードに、山王祭を支える氏子町が明治維新後に歩んだ歴史や文化、街並みの変遷をたどります。明治期の街の様子がわかる図版に加え、木造の御飯屋再建や各町の手ぬぐい、提灯の展示も。

・時間 11:00～18:00 ・会場 1階104、ウッドデッキ(アーツ千代田3331)

※会期中無休／入場無料



アーツ千代田 3331 特別企画展
ときを渡る



●揚子江菜館

揚子江菜館



●麺ダイニング ととこ

麺ダイニング
ととこ



●お茶の水
大勝軒



靖国通り



御茶ノ水

博多天神
お茶の水
1号店



ECOM



新御茶ノ水



●上海 味わい

●麵巧 潮

●南国亭 淡路町店

●栄屋 ミルクホール

C 6月25日(月)

Salon 104.5 vol.7

- 初夏に楽しむチーズの会

cafe104.5 の一角で開催される、ちょっとゆるくて楽しい大人の社交場「Salon 104.5」。今回は「初夏に楽しむチーズ」をテーマに、シェパードやカッターズ、フェタなどのフレッシュ&白カビのチーズを、ハーブや自家製ドリンクとのペアリングで楽しめます。
※お電話にて事前にご予約をお願いします (TEL:03-3251-1045)

・時間 19:30～21:30

・場所 ワテラスタワー2F cafe104.5

・参加費 ¥6,000(税込、チーズ・お料理・ペアリングのドリンク付き)



*店は編集部が独自にセレクトしました。



AAM × TGMP

淡路エリアマネジメント

×

Tokyo Good Manners Project

キックオフ対談！

“TOKYO GOOD”の文化を世界に発信する、Tokyo Good Manners Project (以下TGMP)。その活動は、淡路エリアマネジメント(以下AAM)のまちづくりにも通じるがあります。今後様々たちで連携していくAAM × TGMPのキックオフとして、「かんだ やぶそば」4代目にしてAAM理事の堀田康彦さんと、TGMP理事の水代優さんのお二人に、「神田のまち・人とマナー」をテーマにお話しして頂きました。

Tokyo Good Manners Project

Tokyo Good Manners Projectとは？

“TOKYO GOOD”の文化を、東京で暮らす一人ひとりが誇りを持ち、東京から世界に向けて発信していくことで、都民および東京を訪れる観光客のマナーの認知/向上を図り、国際都市としての魅力向上につなげていくプロジェクトです。

AAM 理事 堀田 康彦

明治13年創業「かんだ やぶそば」の4代目主人。一般社団法人淡路エリアマネジメント理事として、新旧あらゆる要素が調和した、魅力ある神田淡路町のまちづくりに取り組んでいる。

水代：神田で140年近くも続く老舗の「かんだ やぶそば」ですけど、お店を始めた当初から、この界隈には商いを営む人が多かったというのは本当ですか？

堀田：そうです。江戸時代に武家屋敷だった土地を明治政府が払い下げたのを機に、多くの町人が住み着き、あたり一帯が栄えたそうです。そもそも江戸は全国から人が集まってできた都市でしたから、見知らぬ者同士、お互いに気を遣いつつうまくやっていたのでしょうね。

水代：日本人は自然との共存を重んじます、加えて江戸の文化としては、他者との共存も強く意識していたはずですね。違う生活文化を持つ者同士、何から何までがんじがらめの規則やルールを作るわけにも当然いかないし、そういったものとはまた別の、もっとゆるやかな規範意識が生まれていたのでは。

堀田：いわゆる「江戸しぐさ」も、みんなで協調しないことには生活が立ち行かない、人口密度の高い都市の中でこそ生まれた知恵なのだと

う説があります。暗黙のマナーみたいなものでしょうか。常連のお客さんが多数いる店でも、満席の状態でも新たにお客さんがやって来たのを見るなり「自分達はそろそろ食べ終わるので、どうぞ入ってください」「お気遣いいただいて、すみませんね」なんていう風に、店員を介さずお客さん同士でコミュニケーションしていることがありますね。

水代：僕も「かんだ やぶそば」に食事に行くたびに、その光景をよく見かけます。火災に遭われてからの再生劇も大勢の方の熱望があつたものだったと思いますし、人と人同士の繋がりや連携の強さがあつてこそでは、と思います。

堀田：江戸以来、生活文化がよく練られているといいますが、いわば街の「練度」が高まる中で醸成されたものなのでしょう。

水代：「練度」って素敵な言葉ですね。そば店で直面するマナーといえば他にも、そばは“すすって”食べるのが一般的なのに、海外からのお客さんは恥ずかしがってなかなかそれをできない、ということがありますよね。

堀田：すすすることで空気が含まれ、より香りが感じられるという科学的根拠も含めて丁寧に説明するなど、相手の理解を得られるよう働きかけることも必要だと思いますね。ともすれば「粋な食べ方はこれ！」なんていう風に所作だけが取り上げられることも多いですが、「粋」の本質はそういうところにはないわけですし。

水代：形式的なものではないと。粋に思われたいからって形ばかり求めるのは、逆に野暮になっちゃうんですね。

堀田：粋の根源には思いやりの精神があると思います。例えばさつと席をゆずる、それも粋な仕草。スマートに振る舞いたいなら、スマートに見える人をよく観察してみるとよいのでは。その人はきっと他者に肯定的な態度を取っているはずですよ。

水代：一方的に正義を振りかざしたり権利を主張したりするのではなく、「お互いに異質な、あなたと私」という前提に立って振舞うことは、とても大事なポイントですよ。得てして不寛容になりがちなこのご時世、粋の精神には様々な状況を改善するヒントを感じます。

堀田：人に迷惑をかけないで、自由に振舞う、そんな人でありたいものですね。

水代：みんながその境地を目指す、そんな素敵な将来像が見えた気がします！単に「ゴミを捨てない」、「交通規則を守ろう」といったことだけでなく、ここ淡路町から、“TOKYO GOOD”を共に発信していきたいですね。



TGMP 理事 水代 優

good mornings株式会社 代表取締役。都内・地方を問わず、数々の飲食店やコミュニティスペースのプロデュースを手がけながら、それらを基点に、全国各地のまちづくりに携わっている。

平成30年 太田姫稲荷神社例大祭 体験レポート

ワテラスチューデントハウスに暮らす学生が、神田周辺の魅力を内外に発信するコーナー。
今回は、神田駿河台にある「太田姫稲荷神社」の例大祭(5月13日開催)に参加した大学生、稲生衣美さんによる体験レポートです。

行列の先頭では、女性陣が6つの高張提灯を掲げる。



午前8時過ぎ、神社前で列を作り、緊張の出発のときを迎える。

その土地の伝統と個性が溢れる「祭り」。今回私は、地元の方々、そして同じ屋根の下で暮らす学生14名と一緒に、太田姫稲荷神社例大祭に参加した。社は新興と伝統が共存するこの街の一角に位置し、威厳と静かな落ち着きを感じさせる。祭り衣装と、セットして頂いた髪に新鮮さを感じ、自然と気合が入った。日頃履き慣れない足袋も、祭りムードを足元から盛り上げた。



いなせな半纏を身にまとい、町の人々が太田姫稲荷神社に集まる。

午前8時過ぎ、ついに神輿が担ぎ手の肩に上がり、歓声と粋のいい掛け声と共に、祭りは始まった。私は4m近くもある高張提灯を掲げながら、街を練り歩いた。日頃歩く同じ道も、地元の方々と揃いの半纏を身にまとい、一步一步足を進めることで、意識の流れは熱く変わった。笑顔で気さくに声をかけて下さった地元の方々、そして活気と人情味が溢れるこの街に、より親しみと愛着が湧いた。

Text ワテラスチューデントハウス 稲生衣美(上智大学文学部4年)

Photo Chie Maruyama

SPEAK OUT!



準備を終え、宮出しのときを今か今かと待つ担ぎ手たち。



お昼は、チューデントハウスの学生たちみんなでお弁当を!



今回レポートしてくれた稲生衣美さんの、高張提灯を掲げる姿。

午後からは雨が降り始めたが、それは私たちの団結力と掛け声を一層強め、祭りに一体感を与えた。JR 御茶ノ水駅への門付けでは、神輿の上で指揮する総監督の姿に、人々の注目とカメラが集まった。宮入に向けての最後の道筋で、参加者と観覧者の気持ち、そして掛け声は最高潮に達した。

時代と共に街の様子や文化は変化する。しかし同時に、これまでの伝統を継承することも私たちの使命であると思う。この由緒ある太田姫稲荷神社例大祭に参加し、多くの人と五感を通して得た体験は、自身にとって一生の思い出と財産である。この貴重な機会に感謝し、この街と、そこに住む人へ、これからも貢献していきたい。

WE ARE AAM!

パッションほとばしる、音楽の祭典。

JAZZ AUDITORIA 2018 in WATERRAS 開催レポート

淡路エリアマネジメント(AAM)の活動拠点であるワテラスが記念すべき5周年を迎えた4月、27～30日にかけてBLUE NOTE JAPAN,INC. との共催にて、大型野外ジャズライブ「JAZZ AUDITORIA 2018 in WATERRAS」が開催されました。その様子をレポートでお届けします!



絶え間ない躍動感を覚える、音の洪水。会場の熱気は空にも届きそう。

豪華アーティストによる、迫力のステージの数々が繰り広げられた「JAZZ AUDITORIA 2018 in WATERRAS」。マルシェやキッズイベント、大道芸など様々なコンテンツも併催された中、28日(土)には、初の試み「ワテラス入居者対抗バンドライブ」も展開。

演奏した計4組中トップバッターとして出場したのは、株式会社NSDに勤めるギター&ボーカルユニット「カズandトモ with 愉快的仲間たち」。伸びやかな高音のボーカルと歯切れの良いカッティングのギターでカバー3曲を披露、最後には観客を合唱に巻き込んでみせました。社内行事を機に結成してまだ半年にも満たな

い中、トモさん(ギター)は「スタジオで練習するときと明らかに違い、声がかす(カズ)さんが(ボーカル)に驚いた様子。「今後もメンバーを増やしバンドとしてやっていけたら」と改めて音楽の魅力を発見したようです。



カズ(右) and トモ(左)が、声とギターで魅了する。



初夏を思わせる天候に、H.S.R.Orchestraの奏でるラテンビートが実にハマる。

また、株式会社デルフィスの社員がメンバーの一員となる、早稲田大学OBで結成された「High Society Reunion Orchestra」は、計22名という庄巻の大人数でビッグバンドジャズを展開、おなじみの4ビートとラテンナンバーで聴かせました。その情熱と熟練のアンサンブルは、在学中のサークル仲間同士が約9年前に徐々に集いバンドとして練習・演奏を重ねてきたことの賜物。各曲をはじめの際、カウントをとっていたリーダーの小島さん(トロンボーン)が、曲間のMCでバンド継続上の工夫を訊かれ、「疲れやすいので休憩を取ること」と淡淡と答えるユーモアで会場を笑わせる一幕も。晴天のもと会場のワテラス広場は今年もまた大いに賑わいました。

主催 JAZZ AUDITORIA 実行委員会
共催 一般社団法人淡路エリアマネジメント
BLUE NOTE JAPAN, INC.
協賛

ASTALIFT



CRUISE STYLE

東急住宅リース

安田不動産株式会社

大成建設

For a Lively World

AAMでは賛助会員を募集中です。

現在のAAMの賛助会員は、一般社団法人千代田区観光協会、株式会社龍名館、第一実業株式会社。今後もAAMは地域交流を盛り上げる活動にご賛同いただける企業、団体と連携しながら、様々な交流の機会を提供していきます。

新しいコミュニティ作りへキックオフ!

